

2019 年度事業報告書

理事長 田中 一雄

公益社団法人 日本インダストリアルデザイナー協会（JIDA）は日本唯一の全国的なインダストリアルデザイナー団体として67年を超える活動を続けている。インダストリアルデザインは、産業社会のモノづくりをとおり、広く国民生活の質の向上に資するものである。JIDA では、その活動として以下の 6 つの事業を対象としている。先ず、「資格付与事業」はデザイナーの社会的信頼性を担保し、適切に機能する職能を保証する。「セミナー事業」はデザイナーに継続的な学習を促し、常に時代に即応した役割を果たすことを目指す。「体験活動事業」は、インダストリアルデザインに対する社会の理解を深め、社会教育を実践する。「ミュージアム事業」は、インダストリアルデザインを歴史的に記録するとともに、優れた製品の顕彰を通じて明日への展望を示す。「調査・研究事業」は、社会に貢献する専門性と客観性を深めることを進めている。「交流事業」は、広く国内外の組織と連携することによって、国際社会に貢献している。以下に 2019 年度における、6事業の活動実績を記す。

1、資格付与事業

プロダクトデザイン（以下、PD と省略）の普及を目指した PD 検定と関連出版事業を実施、デザイナーの資格制度とキャリア構築に関する情報収集を継続中。デザイン学会展示や JIDA 学校関係会員への案内をするものの市場開拓の難しい状況が続いている。

（1）PD 検定事業

受験者数 300 名超えを目標に、講義用の教材や問題集の営業活動を展開。

2019 度の受験者数 215 名で前年とほぼ同数、合格者数 132 名（合格率 61.4%）。

（2）関連出版事業

PD 検定2級向けの「プロダクトデザインの基礎」（緑本）を出版して4年半、年間販売数も1千冊超え、教材本として定着してきている。

「プロダクトデザイン」（赤本）は出版して10年半（8刷：1万9千冊）、産業の発展やデザイン業務の変革に対応すべく、内容の見直し、項目の追加・削除など改訂版の出版に向け執筆を進行中。

2、セミナー事業

各委員会やブロックにおいて様々なセミナーを開催し、インダストリアルデザインの普及啓発を推進した。

（1）美的集団向けデザインセミナー（継続事業・第二期 4 回シリーズの 2 回分、広東省順徳市）

1) 「Design Driven Innovation」新しい未来創造のデザインについて（80 名） 2019 年 5 月 14 日

2) 「モノの未来とプロダクトデザイン」モノから発想しないモノづくり（65 名） 2019 年 7 月 12 日

（2）東大阪市デザインシンキングワークショップ（2 回シリーズ・23 社 38 名）

東大阪市 2019 年 12 月 4 日・2 月 5 日

（3）CCS スケッチセミナー：学生向けカーデザインのワークショップ（21 名）

六本木 AXIS ギャラリー 2019 年 12 月 24 日

（4）スタンダード 91 回勉強会 『アルミ加飾の基礎から最新技術まで、徹底解説』（27 名）

六本木 JIDA ギャラリー 2019 年 7 月 5 日

（5）スタンダード 92 回勉強会 『リビングラボを活用した高齢者生活における課題解決の手法』（44 名）

六本木 AXIS GALLERY 2019 年 11 月 22 日

(6)スタンダード 93 回勉強会 『プラスチック材料の環境対応～プラスチック材料』 (21 名)

六本木 JIDA ギャラリー 2020 年 2 月 4 日

(7)クラウドファンディングセミナー(2 回・40 名)

六本木 JIDA ギャラリー 2019 年 5 月 30 日、2019 年 9 月 12 日

(8)デザイン講談「クルマと文化とデザイン」(57 名) トヨタ博物館ホール B 2019 年 6 月 15 日

(9)津田駒工業株式会社・技術者向けデザインセミナー(40 名) 野々市工場内 2019 年 11 月 26 日

(10)関西ブロックのデザインセミナー(3回・63名)

大阪デザインセンターSEMBA等 2019年8月30日、2019年10月11日、2019年12月4日

(11)JIDA 塾「素敵な生活、部屋と雑貨」(23 名) 六本木 JIDA ギャラリー 2019 年 6 月 14 日他

3、体験活動事業

国内外を問わず、学生からデザイナーまでを対象とした各種会見活動を行なった。

(1)ADA(Asia Designers Assembly)国際学生デザインワークショップ

＜日本(21 名)、韓国(17 名)、台湾(25 名)からの学生計 64 名＞

台湾台中文化創意センター 2019 年 8 月 11 日～8 月 17 日

(2)電車ワークショップ (小学生 16 名) 東京ミッドタウンデザインハブ 2019 年 8 月 9 日、10 日

(3)エコデザインワークショップ(学生 34 名) 2019 年 8 月 27 日～・2019 年 11 月 17 日(5 回)

(4)いすゞプラザ見学 & 「FL-IR/D-max」デザイナープレゼンテーション(50 名) 2019 年 11 月 29 日

(5)スズキ歴史観の視察会(65 名) 静岡県浜松市 2020 年 1 月 27 日

(6)コマツ 大阪工場 見学会(38 名) コマツ大阪工場(枚方市) 2019 年 7 月 26 日

(7)ものづくり×デザイン・東大阪工場ツアー(14 名)

株式会社パレットハウスジャパン・大阪石材工業株式会社・嶋津工業株式会社 2019 年 2 月 22 日

(8)西陣織見学体験会(12 名) 光峯 KOHO(京都市) 2020 年 3 月 14 日

(9)ベネッセから学ぶ知育玩具のデザインワークショップ(17 名)

六本木 JIDA ギャラリー・2019 年 11 月 26 日他

4、ミュージアム事業

(1)デザインミュージアム事業

①デザインミュージアム in AXIS

デザインミュージアム セレクションVol.21で新たに選定された製品の常設展示を、年間通して行なった。

期間:2019年4月～2020年3月(4カ月毎に年3回)

場所:JIDAギャラリー(六本木AXISビル4F)

②デザインミュージアム in NAGANO

デザインミュージアム セレクションVol.21で新たに選定された製品の巡回展、企画展、常設展を開催した。第77回企画展として「暮らしの中の“木”用具デザイン」を展示。

期間:2019年4月～2020年3月(4カ月毎に年3回)

場所:ミュゼ蔵DM1号館(長野県長野市信州新町)選定製品をテーマ毎に展示

(2)デザインミュージアム セレクション事業

①Vol.21 in TOKYO

2020年前後に販売された製品の選定と収集を行い、展覧会開催と図録制作を実施。

期間:2020年1月9日～1月14日

場所:AXISギャラリー

選定数:54点(ゴールドセレクション賞:5点)

来場者数:約500名 DMセレクション図録制作:2,300部

②デザインフォーラム

デザインミュージアムセレクションVol.21においてゴールドセレクションに輝いた2つの代表的な製品について、2社から開発とデザインの話聞いた。(参加者:約100名)

(3)展示事業

①Next Eco Design 展 2019 Tokyo Style (エコプロ 2019 東京ビッグサイト・来場者数:20 万人)

②あかりサロン No.27 (AXISギャラリー・参加者:80名)

③日本デザイン学会第 66 回春季発表大会 企業展示コーナーへの出展(名古屋市立大学)

5、調査・研究事業

サンプル事業は、新刊の追加とネットショップの浸透により、予定より大幅に頒布が進んだ(183%)が、キッズデザインツールは昨年度実績の 86%程度に留まった。

(1)JIDA STANDARD SAMPLES の頒布

・2019 年度の頒布実績 全 128 冊(昨年度は 70 冊)

「1」:23 冊、「2」:14 冊、「3」:17 冊、「4A」:29 冊、「4B」:35 冊、「5」:10 冊

・その他サンプルの頒布 全 18 冊

「塚田」:4 冊、「アルゴ」:12 冊、「パントン」:1 冊、「RAL」:1 冊

(2)KIDS DESIGN TOOLS の頒布

・2019 年度の頒布実績 全 14 セット(昨年度は 21 セット)

子どものからだ図鑑:2冊、子どものからだパスデータ集:3冊、

2.5Dキッズパーツ:2セット、2Dキッズモデル:2セット、3Dキッズモデル:5セット

(3)産総研、消防庁との共同研究会

・「傷害予防のためのデータ活用に関する検討委員会」として、最近の事故の事例や分析の報告をもとに事故予防に関する共同研究会を行なった。(六本木 JIDA ギャラリー)

開催日: 2019 年 4 月 17 日、5 月 15 日、7 月 31 日、10 月 23 日、11 月 27 日、12 月 25 日、

2020 年 2 月 26 日、 合計 7 回

(4)「高齢者製品事故防止に関するハンドブック」の原稿制作

経済産業省から産総研が受託した事業「高齢者行動データライブラリを活用したセイフティ・バイ・デザイン促進事業」の一環として作成。2020 年 1 月に PDF データを納品(A4 サイズ 58 ページ)

(5)JIDA-UX 研究会

東日本ブロックと中部ブロックの双方で遠隔研究会を開催(JIDA ギャラリーと:BUFFALO 社)

参加者:東日本ブロック 6 名 中部ブロック 6 名 計 12 名、2019 年 9 月 26 日

(6)第 33 期 JIDA 女性研究会成果報告会(研究は行ったが成果発表会は延期)

(7)日本弁理士会・意匠部会との研究会

今年度はロイヤルティー契約についての法的側面からの意見交換と書式検討を行なった。

4 回、各 12 名前後が参加。

弁理士会館 2019 年 6 月 14 日、AP 虎ノ門 9 月 13 日、11 月 8 日、2020 年 1 月 10 日

(8)発表事業

・「リビングラボを活用した高齢者の生活における課題解決の手法」を発表。

日本デザイン学会第 66 回春季大会オーガナイズドセッションにて 名古屋市立大学 2019 年 6 月 30 日他

6、交流事業

(1)Asia Design Assembly(ADA)

KAID(韓国)・CIDA(台湾)との国際交流事業

(2)第三回 World Industrial Design Conference (WIDC)

中国で開催された国際デザイン会議

(3)WDO World Design Assembly (GA)

World Design Organization の 2 年に 1 度の理事会

(4)DIA Design Intelligence Award

中国美術学院主催のデザイン賞への協力(エントリー募集・審査員派遣)

(5)2020 年 CHINAPLUS 協議

上海で開催されるプラスチック関連の展示会への協力(出展者募集・スピーカー派遣)

(6)海外デザイン賞の日本での広報支援

DIA (DESIGN INTELLIGENCE AWARD)

KOREA EYEWEAR DESIGN AWARD

SKY DESIGN AWARD

GIDA (Goldreed International Design Award)

Good Design Australia

(7)他、協力事業

名古屋市主催「ナゴヤでデザイン、する？」トークイベントに協力

「大阪勧業展2019」への出展とセミナー開催

大学の卒業制作展訪問と表彰

JIDA 関西ブロック学生デザイン賞

広島市文化協会—美術部会作品展示会参加

福山市ものづくりコレクションにおける展示交流会他

7、共益事業 < 会員扶助及び会員支援 >

(1)DP ホットライン

フリーランスデザイナーを対象に知財の相談窓口「DP ホットライン」を開設し、会員デザイナーが特許や意匠登録などの申請に関する相談や、外部との知財に関するトラブル等を専門家に気軽に相談できる機会を設けている。2019 年度も各種相談が寄せられた。

(2)会報誌

「ANNUAL REPORT」と称し、毎年前年度 1 年間の活動報告を冊子にまとめ、会員全員に無償配布している。2019 年度は、8 月 1 日に発行し全会員と関係各所に配布した。フルカラー32 ページ。

(3)その他

2019 年度は WEB 化の推進が進んだ。広く一般に発信する媒体として、WEB マガジン、SNS を強化することができた。また、コロナウィルスの影響による集会等の制限が、オンライン会議などの WEB 活用を促進する結果となった。